

2026年度 日本計量生物学会年会・チュートリアルのご案内（第一報）

口羽文, 川口淳, 伊藤ゆり, 島津秀康, 田栗正隆, 室谷健太, 横田勲（企画担当理事）

2026年度日本計量生物学会年会を、2026年5月15日(金)午後、及び5月16日(土)に現地会場とZoom Webinarによるハイブリッド形式で開催いたします。また、15日(金)午前に、同様の開催形式でチュートリアルを開催予定、さらに5月14日(木)には応用統計学会年会が開催となります。

本年度も、一般講演として口頭発表及びポスター発表を募集いたします。今回は、ポスターセッションにて軽食をご用意いたします。活発なご議論、ネットワーキングの促進のため、是非こちらも積極的に参加をご検討ください。口頭発表の皆様にもポスター会場に発表資料を掲示する場を提供する予定です。また、40歳未満の若手の正会員・学生会員を対象に「若手優秀発表賞」の表彰も行う予定です。奮ってご応募ください。参加および講演申し込みの詳細は第二報でご案内致します。

年会・チュートリアルの開催形式および参加要領

開催形式

ハイブリッド開催（現地・Zoom Webinar）

現地会場：松江テルサ

島根県松江市朝日町478-18 (JR松江駅前)

<https://www.matsue-terrsa.jp/>

参加申し込み：2月中旬開始予定

演題申込期間：2月中旬～3月中旬の予定

定員（予定）

現地参加300名、オンライン参加500名

2026年度日本計量生物学会年会

日時：2026年5月15日(金)～16日(土)

2026年度年会特別セッション

セッション名：「医療データにおけるプライバシー保護技術の最前線」

オーガナイザー：石原 拓磨(岐阜大学)

内容：

近年、医療データの二次利用が進展する一方で、データ提供者である患者のプライバシー保護が喫緊の課題となっている。本セッションでは、医療分野で注目される最新のプライバシー保護技術とその動向を概観する。まず、学習済みモデルなどから特定の個人の情報を推定する攻撃、およびこれに対抗する最新のプライバシー保護技術を紹介する。さらに、複数の医療機関がデータを持ち寄らずに解析を行う「秘密計算」や「連合学習」についても解説し、具体的な活用法を議論する。データの価値を損なわずに安全に活用するための新しい技術と展望を、実務と研究の双方の視点から考える場としたい。

演者・演題（予定）

座長：千田 浩司(群馬大学), 石原 拓磨(岐阜大学)

1. 千田 浩司(群馬大学)

医療データのプライバシー保護、メンバーシップ推定攻撃、秘密計算について

2. 南 和宏(統計数理研究所)

- 合成データ、差分プライバシーについて
3. 松井 孝太(京都大学)
転移学習と連合学習とのつながりについて
4. 高前田 伸也(東京大学)
連合学習の基礎

チュートリアル

日時：2026年5月15日（金）午前

テーマ：極値統計学による統計的モデリング～少数サンプル解析への挑戦～

講師：吉田 拓真（鹿児島大学）

内容：

豪雨や地震などに起因する自然災害、ファイナンスにおける金融リスク、そして製品寿命など様々な現象に関するデータを扱う応用分野において、データ全体の中で極めて大きい、または小さい値の発生確率の見積りは信頼性評価やリスク管理の観点から重要な課題である。この課題に対する統計学的なテーマはデータの最大値や最小値、あるいはそれらに近い分位点の予測となる。そのためには、裾の挙動にのみ焦点を当てた確率モデルを構築することが不可欠である。極値統計学はそのための方法論を示すものである。稀な事象に関わるデータ解析をする際には常に少数サンプル問題が付きまとう。極値統計学ではこの困難を“外挿”と呼ばれるテクニックで攻略する。本チュートリアルでは極値統計学の基本的な考え方、モデリング、そして外挿を導く統計理論について解説する。また、最新の話題についても触れる。

その他

- ・年会期間中に日本計量生物学会総会、学会賞授与式を開催します。
- ・5月14日（木）には応用統計学会年会が開催されます。